



ほこっと



TEL 0598-38-1133

<http://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>

あいうえお

新井竹子

おなかに 手を あて
「あいうえお」

むねに 手を あて

「あいうえお」

ほほに 手を あて

「あいうえお」

みじかく きって

「あ、い、う、え、お」

すこし のぼして

「あ、い、う、う、え、おー」

では もう一ど

おなかに 手を あて

「あいうえお」

あいうえお は

母音と

日本の こぼの 母音なんです

『続 子どもといっしょに読みたい詩』あゆみ出版より

—耳をすませて～冬のおたのしみ 2018—

12月2日(日) 13時30分～

多気中学校吹奏楽部のクリスマスコンサート&エイプリル(ALT)と歌のコラボ! 英語であそぼう、は歌ったり踊ったり、ゲームをしたり・・・お楽しみに!
詳細は、チラシをご覧ください。

—家読(うちどく)のススメ—

絵本の時代を過ぎても、おうちの方が子どもたちに読んであげて、一緒に楽しみましょう。

「目からの読書」は「体験」となり心地よく身体に刻まれていきます。こうして積み重ねられた記憶は子どもの一生を、そして大人の日々も支えてくれます。

★★ 家読(うちどく) おすすめ本 ★★

『子どもと一緒に覚えたい 野鳥の名前』



インプレス
秋が深まると、冬に備えたくさんの野鳥がみられ、観察も楽しめます。この本は、じんぐりとの大きさ比較や鳴き声が紹介され興味深く読めます。

11月

■ はお休みです。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 10:30~ おはなし会
4		6	7	8	9 10:30~ おもちゃ	10 11:00~ ほけっと
11		13	14	15	16	17
18		20	21	22 11:00~ あかちゃん	23	24 11:00~ ほけっと
25		27	28	29		

● 図書館利用案内 ●

- ☆ 開館時間: 午前10時～午後6時まで
- ☆ 貸出期間: 2週間
- ☆ 貸出冊数: ひとり10冊まで

● おねがい ●

本を破ってしまったら自分で本を直さずカウンターへお知らせください。

※ 家のセロテープなどは染色の原因になります。

今月のおすすめ

『日本語ほど面白いものはない
昌智小学校六年一組 特別授業』

柳瀬尚紀（やなせ・なおき） 新潮社



島根県の山奥にある昌智小学校6年生16名、その教壇に立った「チョコレート工場の秘密」の記者は、どのようにして「言葉」という「奇蹟」に目を拓かせたのか。未来を担う子供たちにつなぐ感動の教育ドキュメント。

『ちいさな言葉』

鉄 万智（たわら・まち） 岩波書店



言葉を獲得していく幼い息子への、発見に満ちた日々を綴る。母と子の言葉のキャッチボールが微笑ましい。子どもは、言葉を通して成長していくのですね。

『美人の日常語』

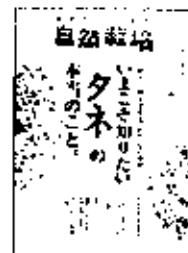
山下真子（やました・けいこ） 幻冬舎



昔々、母のことを「いうは」といったそう。最初に出会う言葉の先生はお母さんだから。単語には想いが込められている。そんな優しい気持ちになる、読むだけで心が清らかになる日本語の本。

『自然栽培 いまこそ知りたい「タネ」の本当のこと。』

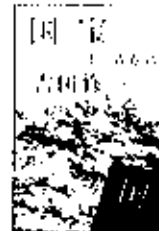
東邦出版



私たちはタネから、エネルギーをたくさんもらっている。だからもっと知りたい！生きるための「タネトリ」のすすめ。

『国宝』

吉田修一（よしだ・しゅういち） 朝日新聞出版



極道の息子として生まれに少年が、理由あって稀有な美しさと才能を見込まれ、歌舞伎に身を捧げることに。苦しみ、家名、確執、贗名、死…。

激しい芸の継承と波乱の人生の先に得たものは一。わかっていても、涙が止まりません。日本一の女形今ここに！

『大人は泣かないと思っていた』

寺地はるな（てらち・はるな） 集英社



三代前から住んでいないとよき者とされるような片田舎。ために、そこに暮らす主人公と彼を取り巻く人たちは互いに影響し合い、あと一歩を踏み出せない他人の背中をそっと押してくれる。みんな良い方向へと進んでいく魔法のような物語。

『食べる世界地図』 ミーナ・ホランド エクスナレッジ



美味しいものを美味しいと思う気持ちに国境はない。この本を片手にキッチンの世界旅行に出てみよう。食欲を刺激する料理、食材の秘密、移民がもたらした影響などが書かれている。料理初心者にも分かるレシピ付き。グルメ世界料理大賞受賞。

コーナー紹介

読んで旅する世界の国々に

その国で暮らす人たちの文化や暮らし、メッセージなどがわかる本を集めました。本を通して広い世界をみてみませんか。